

歓迎!「人生大学Q&A」

けど」、多くの皆さまの質問にお答えしまーす!



歌とお話とおもしろ工作の 「劇団5期」で～す

聞き手:子ども6期 小谷

- Q. 目的は何ですか?
A. 子どもと、お母さん達の笑顔を見たいからです。
- Q. 立ち上げたのはいつですか?
A. 2008年11月です。子ども支援学科5期生が在学中に立ち上げました。
- Q. 立ち上げのきっかけ(理由)は何ですか?
A. クラスで折り紙や牛乳パックなどで工作をしているうち、自然に「工作研究会」が出来て発展して行きました。大学祭でのステージ発表「エコな仲間たち」の打ち上げの場で「このまま終わらせたくない」との思いから、劇団四季をもじって「劇団5期」と名付けました。団員は子ども支援学科5期生全員で、現在は15名です。

- Q. 活動内容を教えてください。
A. 主に葛西共育プラザで月1回定例公演を行っています。他に子育てひろばなどです。1回の公演は5名ほどで行い、工作サポートに何人かが加わります。出し物=手遊び歌、読み聞かせ、ミニミニ劇場、おもしろ工作など
- Q. 将来の夢は何ですか?
A. これからも体力の続く限り、「楽しみながら」続けていきたいです。



*取材後の感想: 団長の庄司信幸さんにお聞きしました。熱心さとバイタリティーが「楽しさ」に包まれておりました。

喜ばれています♪♪♪ 出前で楽しむ「歌声談話室」

聞き手:介護6期 伊久美

- Q. 設立のきっかけ(理由)は何ですか?
A. 介護2期の仲間と施設見学をした時の感動的なボランティア体験です。施設スタッフに、「お年寄りのお好きな歌を知らないもので歌って欲しい」と頼まれました。歌の力は素晴らしいものです。眠っていた方も、歌い出せば目を輝かせ、故郷のことを話し始めました。もっと歌いたいと大勢集まって来て、「歌はいいねえ。ありがとう。」と涙を浮かべました。「こちらこそありがとう」という気持ちでいっぱいになりました。
- Q. 現在の活動状況を教えてください。
A. 2006年10月、社会活動体験としてスタートした「歌声談話室」は、訪問回数200回を越えました。地域の仲間も加わり、メンバーも18名になりました。童謡・唱歌・歌謡曲・民謡や、ハーモニカ、ミニ琴、ハンドシアター等々、メンバーそれぞれが個性を生かして活動しています。主な活動日は、毎週金曜日。「なぎさ音楽苑」、「まどか船堀」、「あおぞらデイサービス」を中心に活動しています。

- Q. 課題と今後の展望を教えてください。
A. 「歌声談話室」は、これ以上には活動時間を増やせません。それぞれが、ふさわしい活動を自由に開拓していくことを勧めています。1年に一度の研修会には、新たな収穫物を仲間にも披露してもらうことを楽しみにしています。親の介護や、それぞれやりたいことにもたくさんあります。体調の悪い時も無理せずお休みして良いというのも大原則です。私たち自身の介護予防を目指して永く続けていきたいと考えています。



*取材後の感想: メンバーの皆様の個性を活かした歌などにより、地道な活動を粘り強く実施している事に共感を覚えました。

江戸川区を知る<第2弾>

住んでいても意外と知らない自分たちのまち。シリーズ第2弾として、江戸川区立瑞江中学校の遊佐照雄先生に葛西について3回連続で執筆していただきます。

愛しきわがまちの軌跡②

「大般若」

江戸時代から続く女装のお祭り



(大般若・経箱・屋外)

江戸時代から葛西に伝わる大般若というお祭があります。雷不動・真蔵院に伝わる大般若は、男性が女装をして経箱を担いで街を練り歩く祭りです。大般若経のご利益と、雷不動明王の信仰を兼ねた無病息災・厄払いのお正月の伝統行事です。

女装をするようになったのは、妹の病気が治るようにと兄が妹の長襦袢を着て、祭りに参加したという言い伝えからです。

江戸時代、コレラという疫病が3回流行し、疫病を退治しようと真蔵院のお坊さんが大般若経を持って、家々を回ってお祈りしたところ、疫病が収まったと言われています。疫病が収まったので、御礼に大般若経

の入った経箱を担いで街を練り歩く大般若の祭りが行われるようになりました。雷の街を上組・中組・下組の順番でまわります。海の方に厄を追い払うためです。

紅白粉をつけ、女物の長襦袢で女装した若衆が、大般若経600巻を100巻づつ入れた経箱を真蔵院から担ぎ出し、雷の家々を走り廻ります。

昔は一軒一軒、玄関から家の中に入って、無病息災を祈っていました。家々では玄関先に蓮を敷き、酒肴の用意をしてこの集団を迎えました。今では森幸男さんの一軒だけ、家の中を経箱が通る大般若の伝統を守っています。「うちがやんなきゃしゃあめー」と森さん。



(大般若・家の中)

大般若には還暦(60歳)の人も参加します。赤い長襦袢を着て、若者と一緒に街を練り歩きます。街の人に還暦を祝ってもらっています。

昔は、雷では7歳になると青年団が

「もらいにきた」といって、7歳の子を青年団のたまり場に連れて行き、青年団に入る儀式を行いました。大般若の時は、女の子の宮参りの着物などを着て、鼻の頭に白粉を塗って縮緬の褌をかけて赤い鉢巻をして、白足袋をはいて、大般若の先頭を駆けました。大般若のお経の箱やおひょご(お不動さまのお姿が入った箱)をかつぐ役は、青年団の連判状の順になっていました。毎年、21人か22人選ばれました。青年団の大世話人(10人)が「旦那さま」に掛け合って予算をもらい、大般若を取り仕切っていました。

「雷の旦那衆」は4人いて、須賀さん(キムドン)・森さん(モリジン)・斉藤さん(タイム)・荒井さん(カヘイジ)です。それぞれ屋号でよばれていました。

大般若は昭和57年2月に江戸川区無形民俗文化財に指定されました。実行者は雷町会と雷友会です。

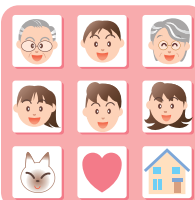
葛西7か村では、近代まで各地で正月十四日に大般若がおこなわれていましたが、そのほとんどは消えてしまいました。

今回は「葛西弁について」の予定です。

豆知識:

葛西弁で「たくさん」を「いっぺえ」、「あなた」を「おめえ」と言います。

同窓会の窓



3.11に思う

あの日から、はや4ヶ月が過ぎようとしていますが、日々考えることは被災者および犠牲となられた多くの人々のことです。私たちに何ができるのか。否、何をすべきなのかということです。多くの区民の皆様はもとより、在校生の諸兄姉もいろいろな思いで支援のために立ち上がっておられます。同窓会としても在校生とともに支援のための募金活動を行いました。江戸川総合人生大学の一体化の第一歩として素晴らしい行動だったと思います。この行動の輪をさらに広げ、人生大学のみならず江戸川区民ひいては日本中のそして世界のすべての皆さまとの一体感をより強固にするいい機会にしようではありませんか。皆が繋がっていることを確信します。

(同窓会会長 島田)

地域活動グループ紹介: 在校生の震災ボランティア体験

私は3月25日から4月2日までの9日間と4月28日から5月6日の9日間の2回、大震災で大きな被害になっている宮城県石巻市の避難所に介護のボランティアとして、食事のお世話・話し相手・排泄介助などの日々の生活援助の活動を行いました。今でも決して忘れられない3月11日、未曾有の大震災が起き、何とかしなければ、また自分が今何かをしなければとの思いを強く感じ、今でできることをしようと決意しました。この最悪の事態に一人の力では何もできないが、皆が共通の思いで力を合わせれば被災地の皆様少しでも何らかのお役に立てればと思います。初めての災害ボランティアに参加し、避難所で毎日辛い生活を送っている方々のそばに寄り添い共感の気持ちを忘れず、話を聴く姿勢で一人ひとりの方と色々な話を聴く事ができました。ある人は「家は全て津波で流された。何にもない。命あるだけでよい。」と涙を流しながら辛い気持ちを語っていただきました。

(介護6期:伊久美)

ご報告: 東日本大震災の被災者のため、復興のため、卒業生と在校生が協力して、支援の募金活動を行いました。これには学長や講師の方々も賛同して下さり寄付をいただきました。集まった義援金685,912円は、「江戸川総合人生大学在校生・同窓生有志一同」として江戸川区へ送りました。

編集後記

「ひと あい えどがわ」第17号では、皆様からの江戸川総合人生大学へのご質問にお答えるQ&A方式で編集いたしました。ご意見、ご質問など有難うございました。今号では、内容の充実を図るため紙面を増やし、ユニークな「巻き三つ折り」方式にいたしました。いかがでしたでしょうか。ご感想、ご意見をお聞かせ下さい。なお、7月30日(土)には「第6回江戸川総合人生大学祭」をタワーホール船堀で開催します。私たちの学びの成果を是非ご覧下さい。

編集長 小谷勝彦

編集:「ひと あい えどがわ」編集委員

【6期生】川名信義、小林隆子(まち) 田代耕太郎、安武和子(国) 小谷勝彦、高津陽子(子) 伊久美明、川本幹子(介)

【7期生】井上真、齋藤彰吾、林朋廣(まち) 寺本孝行、矢島芳男(国) 鹿野恵子、丸田拔子(子) 滝川幸郎、齊藤史帆(介)

江戸川総合人生大学 発行日/2011年(平成23年)7月1日

発行/江戸川総合人生大学

発行日/2011年(平成23年)7月1日

発行/江戸川総合人生大学

〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19 篠崎文化プラザ

ひと あい えどがわ

No.17

発行日/2011.7.1
創刊日/2007.4.10

EDO GAWA
SINCE 2004
SOU GOU-JINSEI-DAIGAKU

http://www.sougou-jinsei-daigaku.net/

卒業後のさまざまな Activity 活躍を目指しながら

人生大学に入学した思いはみんな様々。「江戸川総合人生大学」について授業のことから卒業後のことまで多くの皆さまのご質問に「Q & A形式」でお答えしています。入学をお考えの方は是非ご参考に。



復活躍動

ゼロからのチャレンジ精神がアクティブなパワーとなって!

「べか舟」: 平底の小舟で、主に貝や海藻採りに使われました。葛西・浦安周辺の海の風物でした。葛西臨海公園西なぎさで、海を復活するための活動で2枚貝の種付けなどに使っています。(写真まち6期川名)

江戸川総合人生大学 新入生募集!

今年10月から始まる第8期生を募集しています。学ぶ楽しさを実感しませんか?

【申し込み資格】区内在住・在勤・在学の方。年齢制限はありません。

【修学期間】2年間

【授業料】3万円(1年間)※実地授業時の入館料、実費分をご負担いただく場合があります。

【申し込み】区役所・各事務所・図書館・コミュニティ会館などで配布している「入学案内」に添付されている入学願書に必要事項を記入の上、江戸川総合人生大学事務局 〒133-0061 江戸川区篠崎町7-20-19 篠崎文化プラザへ持参または郵送してください。

【問合せ】☎03-3676-9075



人生大学

地域のために自分の力を活かしてみたい。江戸川総合人生大学はそんな方を応援するために江戸川区が開設した大学です。(※学校教育法で定める正規の大学ではありません。)

学び・ふれあい・豊かな心

第6回 江戸川総合人生大学祭

6th Edogawa Sougou Jinsei Daigaku Festa

日時:2011年7月30日(土) AM10:00~PM4:00

場所:タワーホール船堀(展示ホール・瑞雲の間)【入場無料】

あなたも、アナタも大 歓迎!「人生大学 Q&A」

「大学のことを知りたい」、「入学してみたい けど」、多くの皆さまの質問にお答えしまーす!



大学に質問です

Q.在校生の平均年齢は?

A.現在、6期生は61歳、7期生は60歳で、33歳から88歳まで幅広い年齢層です。

Q.授業は週何回、1回につき何時間ですか?

A.1年次は、専門科目と共通基礎科目合わせて年間60回程度です。選択する科目や授業の実施時期により週あたりの授業回数は異なりますが、概ね週2〜3回です。授業は、原則として1回につき2時間です。

Q.年間の学費はいくらですか?

A.年間の授業料は3万円です。

Q.北野学長は講義されますか?

A.共通基礎科目で講義をされる他、各種イベントに参加されます。

Q.入学のための資格や年齢制限はありますか?

A.学歴や年齢は問いません。入学の条件は、区内に在住、在勤、在学であることです。

Q.普通の大学とどう違いますか?

A.江戸川総合人生大学は、地域のために自分の力を活かしてみたいと考える方を応援するために江戸川区が設立した大学です。学校教育法で定める正規の大学ではありません。通学定期や各種学生割引は使えません。

在校生の皆さんに質問です

Q.楽しかったこと、良かったことは何ですか?

A.①学びを通して仲間作りができる。

②特殊施設、伝統工芸、民間企業など普段個人では行けない場所も見学できる。

③各分野で著名な先生方の講義が受けられる。

④江戸川区の行政が良くわかる。

⑤区内の広範囲において交流ができる。

Q.まだ目標がはっきりしませんが、入学して大丈夫でしょうか?

A.まず興味のある学科を選びませんか。2年間の学びの中から目標が見えてきますので、心配はいりません。

Q.他人とのコミュニケーションが苦手です。そんな人でも入学できるでしょうか?

A.コミュニケーションについての授業もありますので、自然に図れるようになるかも知れません。ご安心ください。

Q.勉強することから何十年も遠ざかっている者でも皆さんに迷惑をかけずに授業について行けるでしょうか?

A.ほとんどの方々がそうです。分からないところはクラスの仲間が協力し合っています。ご心配はいりません。

Q.大学での活動や活躍を教えてください。

A.大学祭、パソコン講習会、情報紙「ひと あい えどがわ」の発行など学年学科を超えての活動があります。

江戸川まちづくり学科に質問です

Q.どんな授業内容ですか?

A.1年生時…

①実際に現場(地域)に出て、まちづくりへの関わり方を勉強します。

②グループで調査、研究を行い、成果を発表することによるグループ活動の勉強をします。

2年生時…

①卒業後の市民活動に結びつく、企画の立案力、組織立ち上げのノウハウなど、実践的な勉強をします。

②社会活動を実践します。

Q.どんなスキルが身につきますか?

A.グループ活動のノウハウ(ワークショップ手法)、企画力(企画書の作成)、人前での話し方、パソコン能力など。



Q.授業で良かったことは何ですか?

A.①多方面の専門家の先生方の講義を受けることが出来、視野がひろがった事。

②グループワークにより、夢を共有できる友がで、新しい自分を発見できた事。

Q.どんな先生が講義をされていますか?

A.まちづくりを実践されている会社の代表である佐谷和江学科長(まちづくりコンサルタント)やファシリテーターのプロ竹迫和代先生、NPO法人の代表などです。

国際コミュニティ学科に質問です

Q.どんな授業内容ですか?

A.各国の歴史や文化、在住外国人を取り巻く現状や課題などを学び、フィールドワーク(現場調査)、イベント企画、社会活動体験などの実践的な活動を通して、地域の国際交流や外国人との「共生」について考えていく授業です。

Q.どんなスキルが身につきますか?

A.①国際コミュニティを考える上で大切な

フィールドワークの基礎知識や実践的なノウハウを学べます。

②「共生」に不可欠な他人への理解、交流を図るための基礎知識を習得できます。

Q.授業で良かった事は何ですか?

A.①授業は毎回興味深い内容ですが、講義室を離れて実際の



国際コミュニティを現地体験できるフィールドには特に印象に残ります。

②インフォーマントディとして、在住外国人の方達との意見交換

を気楽な環境で行い、とても良かったです。

Q.どんな先生が講義をされていますか?

A.青山学院大学名誉教授のG.W.ギッシュ学科長、在日中国人の王先生や韓国ソウル出身の霜島先生など国際色豊かな講師陣です。

子ども支援学科に質問です

Q.どんな授業内容ですか?

A.1年生時…

赤ちゃんの発達から、幼児期の親のかかわり方、親子関係、家族関係、子育て、しつけと虐待、子育て中の親への支援、

などを学びます。

2年生時…

グループワークの進め方を学び、協働でプログラムを企画・実践し、最後は成果の発表を行います。



Q.どんなスキルが身につきますか?

A.子育てに関する専門的な知識が加わり、身近なところでのお手伝いがし易くなり「生き甲斐」が見つかります。

Q.授業で良かったことは何ですか?

A.①「赤ちゃんとは」からはじまり、子ども目線、子育て支援、虐待など専門家から分かりやすい講義を受けることができます。

②授業での地域の子ども見守り隊などの話が、2年次の実践(ボランティア)に直結しているのは良いと思います。

Q.どんな先生が講義をされていますか?

A.お茶の水女子大学教授の三輪建二学科長、ヨコハマまなびねっと代表の吉見江利先生、RE Learning代表の秦野玲子先生や大相撲中村部屋のおかみさんなど魅力的な方々が講義をされています。

介護・福祉学科に質問です

Q.どんな授業内容ですか?

A.1年生時は座学が中心の授業です。高齢社会の現状、介護保険制度、認知症各種介護施設の状況などを学びます。

2年生時は区内の福祉マップの作成、イベント企画、社会活動体験などグループワークを中心とした授業です。

Q.どんなスキルが身につきますか?

A.高齢者の介護に伴う基本的な対応方法、介護保険制度の概要や認知症の方に対する具体的な対応の仕方などの様々なスキルが勉強できます。

Q.授業で良かった事は何ですか?

A.高齢者の社会福祉法人入所施設やNPO法人などによる施設で高齢者の方々とふれあう場を見学して、介護は一人ひとりで対応の仕方が違うということを感じ、知ることができて本当に良かったと思いました。

Q.どんな先生が講義をされていますか?

A.福祉ジャーナリストの村田幸子学科長や、毎日の生活研究所代表取締役の矢郷恵子先生。全国各地の専門的な経験と知識を持った専門家の先生方や特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなど現場で活躍されているプロの方々です。



卒業生の方々に質問です

Q.卒業後の活動や活躍を教えてください。

A.たくさんのグループが活動していますが、今回は各学科から関連グループや個人をそれぞれ一つピックアップして編集委員が取材したものを紹介します。

「江戸川ガイドグループ」 渋谷会長(まち3期)にインタビュー!

聞き手:まち6期 小林

Q.目的は何ですか?

A.区内の高齢者、障がい者の方々の手助けをしていくことです。

Q.立ち上げたのはいつですか?

A.2008年です。

Q.立ち上げのきっかけ(理由)は何ですか?

A.大学1年生でいろいろ勉強をし、2年生になった時「これだ」と思い目標が決まりました。卒業研究発表後、すぐにグループを立ち上げました。

Q.活動内容を教えてください。

A.江戸川区内のお年寄り、精神障がい者等、普段外に出ない人、出たくても一人では出にくい人を誘っての散歩です。色々と課題が多く、今は、散歩の好きな人が集まり、年6回の散策(下見と本番)・江戸川区のボランティアフェスティバルなどのイベントに参加し、共に楽しい時間を過ごしています。

Q.将来の夢は?

A.まずは自分が楽しく、そして参加する人にも、楽しく散歩してもらふ事により、みんなに元気で笑顔で生活をしてもらいたいと思っています。



*取材後の感想:私も会員ですが、渋谷会長の人柄とみんなで楽しくやろうという気持ちが伝わり、会員も増え本当に楽しいグループです。まだ課題はありますが、これからも渋谷会長を中心に、みんなで続けていけるとステキですね。

えどがわエコセンターより えどがわエコセンターの イベントに参加しよう!

	日 程	時 間	イベント名
1	7月9日(土) [毎月第2土曜日]	10:30 ~ 12:00	太陽エネルギー利用講習会
2	7月17日(日)	10:00 ~ 14:30	荒川でザリガニ釣りとお餅作り
3	7月20日(水)	10:00 ~ 13:00	エコ・クッキング ～台所から省エネしよう!
4	8月6日(土)	12:50 ~ 15:30	葛西臨海公園で水質と生きものしらべ

※詳細は「広報えどがわ」で公称します。

問合せ先: 特定非営利活動法人えどがわエコセンター 電話:5659-1651
FAX:5659-1677 メール:edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp

次世代につなごう 「江戸川国際交流びわの会」

聞き手:国際6期 田代

Q.設立のきっかけは何ですか?

A.国際4期のメンバーは、たまたま入学時に、社会貢献をしたいという気持ちが強い人が集まっていた。1年次のフィールド・ワークをきっかけに、将来の目標をクラスで持つ流れが出来てきました。さらに、大学祭で皆の気持ちがまとまったことで、お互いの考え方を話し合うようになってきました。

Q.活動内容を教えてください。

A.月1回、第2水曜日にテーマを決めて会合を持っています。会のホームページは、外国人だけでなく外国人へのボランティア活動をしている日本人に見ていただきたいと思っています。

また、他のサークルのホームページ作成の支援も行っています。「びわの会」は、国際4期のボランティアだけでなく、江戸川総合人生大学という共通の「場」で学び、社会活動をしていく他の学科や卒業年度の人たちにもバーベキュー会などを通じて輪を広げています。

Q.今後の課題を教えてください。

A.輪を広げることの難しさを感じています。無理は続きません。会員の高齢化も今後の活動に影響があります。活動には、大きく分けて、ある目的を持った活動と、継続的に取り組む活動があります。前者はその目的を達成したら終了しますが、後者は持続した活動とするためには、次世代への継承も考えていかなければなりません。



びわの会HP↑ <http://kokowith.web.fc2.com/>

*取材後の感想:それぞれの個性で、日常活動を行いながら「びわの会」としてはゆるやかなつながりを保ちつつその輪を広げ、次世代につなごうという姿勢に活動の深さを感じました。

ボランティアセンターより <第2・3回 初心者のための手話講座> 初めて手話を学ぶための講座です。

第2回:9月17日から12月10日の土曜日(全10回)
第3回:9月28日から12月7日の水曜日(全10回)
時 間:13時30分~15時30分
会 場:グリーンパレス
☆詳しくは、8月10日号の広報えどがわをご覧ください。

